市政に関する一般質問

今定例会では、２２名の議員が一般質問を行いました。

会派名　議員氏名

一般質問の表題

質問の順番

問

答 答弁者

※（質問の要約）

質問 通告事項の要約

（答弁の要約）

※ 印の付いた答弁は複数の答弁者の発言をまとめたものです。

会議録の閲覧

【今定例会の会議録】
議会ホームページ、または図書館等で8月下旬頃から閲覧できます。

【閲覧場所】
図書館／市民センター／議会事務局／情報公開窓口（東庁舎）

やまぶき会　小高浩行　1

地域力強化プランの導入を

問 文部科学省が推進している「学校を核とした地域力強化プラン」を導入し、学校と家庭・地域が連携して地域全体で子供の成長を支えられないか。

答 教育長　学校が核となり、家庭・地域の連携を強化することが必要であると考える。今後、子どもたちに必要な資質について目標を共有し、役割や責任を明確にしながら、子どもの成長を地域全体で支えていくことが必要である。また、協働活動を推進することで、地域の教育力の向上・充実、持続可能な地域社会の創生が期待できる。教育委員会としては、地域の特色ある取り組みを支援し、学校を核とした地域力強化のための仕組みづくりを検討していきたい。

質問 学校核の地域力強化

無所属　小林　薫　2

東後楽会館の廃止後は

問 東後楽会館の後継施設として、温浴施設、若者との交流の場、農業体験のできる場として整備するのか。

答 市長　東後楽会館の後継施設については、川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略にある蔵ｉｎガルテン川越の推進の中で、検討を進めていこうと考えているところである。

＊「蔵ｉｎガルテン川越」の説明は、11ページの「豆知識」をご覧ください。

質問 市長の政治姿勢

公明党　桐野　忠　3

部活動や行事変更時の対応

問 部活動を変更する場合や校外行事を変更する場合には、学校だけの判断でなく、教育委員会として関わるなど一定の統一見解が必要ではないか。

答 学校教育部長　統一した見解は学校の創意工夫を妨げ、学校の状況や実態に即した活動に制約を与えることも予想され、学校の主体性に委ねることも大切であると考えるが、教育委員会としては、課題解決のための支援や助言、保護者や地域の方々の要望への調整等に努めていく。学校が大幅な変更をする場合には事前に報告を受け、安易に廃部や廃止することのないよう、また、丁寧に説明し、理解してもらうことなどを助言していく。

質問 学校部活動と年間行事

質問 道路等施設の破損対応

公明党　中村文明　4

こどもの居場所の観点に

問 こどもの居場所について、受け皿として民間施設などさまざまなニーズがある実態を、市はどのように考えるか。

答 こども未来部長　生活困窮者世帯やひとり親家庭などさまざまな支援を必要とする子どもたちに、学習支援など地域での居場所を提供することは大切なことと認識し実施しているところである。学校、家庭、地域以外にもさまざまな場所にニーズがあり、それに対し、行政も適切に把握し対応する必要があると認識している。ついては、今後、こども未来部だけでなく、教育委員会および他の関係機関と連携し、対応のあり方を検討していきたいと考えている。

質問 学校の安全対策

質問 こどもの居場所づくり

やまぶき会　小野澤康弘　5

河越館跡整備の停滞を問う

問 市はすでに停滞している河越館跡整備事業について2期3期整備を統合して行う考えを示しているが、どのような整備の進め方を考えているのか。

答 教育総務部長　2期整備および3期整備の統合については、今年度開催の河越館跡整備検討委員会に諮っていく。未買収地を先に買収し、館跡全てを公有地とすることで、工程の一本化による整備期間の短縮が期待できる。

ただし、ガイダンス施設や史跡内にある市道9331号線の付け替え等の整備について着手が前倒しになるので、早急に調整が必要と考えている。

できる限り当初の計画に合わせ、早く公開できるよう努めていきたい。

質問 史跡河越館跡の整備

質問 なぐわしピコアの現状